

環境活動レポート

活動期間：2016年9月～2017年8月



エコアクション21
認証・登録番号0000026



■目次

■当社の概要及び対象範囲	P. 2
■環境経営方針	P. 3
■組織図	P. 4
■年度別環境目標計画の推移	P. 5
■年度別環境実績の推移	P. 5
■今年度の環境目標及び環境活動計画	P. 6
■取組結果の評価と改善施策及びコメント	P. 7
■環境コミュニケーション	P. 8～10
■環境関連法規制への違反、訴訟等の有無	P. 8
■代表者による全体の取組状況の評価と見直し結果	P. 11
■47期（2017年度）の具体的な取組み計画	P. 12

《 社 是 》

私たちはいつも夢と若さをもって前進し、お客様中心の企業活動を通して人と社会に貢献します。

《 行 動 指 針 》

常に問題意識を持ち積極的に行動しよう。

- ◎ お客様の立場でものごとを考え、「問題解決型の営業」を推進しよう。
- ◎ お客様からお預かりした仕事には、「ユース独自の価値」を付け加えよう。
- ◎ 接客応対は、「お客様の不満を取り除き、安心感を提供する応対」を心掛けよう。

株式会社ユース
代表取締役 石田友克

今期のレポートに弊社の「社是」、「行動指針」を掲載

■ 当社の概要及び対象範囲

1. 事業者名及び代表者名

株式会社 ユース

代表取締役社長 石田 友克

2. 所在地

本社・本社工場 〒350-1331 埼玉県狭山市新狭山 1-1-3

川越工場 〒350-0833 埼玉県川越市芳野台 2-8-23

3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 専務取締役 石田 達也

事務局責任者 楠本 誠実

連絡先 電 話 04-2953-2187 F A X 04-2953-6904

<http://www.youthinc.co.jp> e-mail:info@youthinc.co.jp

4. 事業の内容

O A機器、印刷機器、環境機器、物流機器、包装資材の販売

木製パレット、各種木箱、トランクルームの製造、

包装作業 (各種包装、作業代行、組立加工、入出庫、検査)

文房具の通販(オフィス通販 ASKUL 代理店)、電子機器部品組立・検査等

5. 事業の規模 (事業に連動 毎9月～毎8月)

・資本金 50百万円

・売上 2034百万円

・従業員数 本社・工場 27人 + 川越工場 17人

・設立 1970年9月(昭和45年)

・工場延べ床面積 本社・工場 1100m² + 川越工場 1310m²

6. 対象範囲

・組織 本社・本社工場、川越工場

・対象活動 販売・製造・梱包・通販・請負(組立・検査)

特記:弊社のE A活動範囲の考え方

印刷工房弁慶は、経営判断の基に明確になるタイミングで将来対象範囲としていく考え方を基本とします。

★当社の主な取り扱い環境商品

エコシリファ®

足元ホカホカ 快適環境!!

Be ONE

エアコン・空調機・冷凍機を傷めず確実に電力デマンドを削減!!

※工場・食品工場・冷冻物流仓库・スーパー・病院・オフィス・ホテル 幅広い分野に導入実績有り

圧縮機常時監視
送風モード
測定データ
信号受信回路
信号送信回路
USB グラウンド
信号受信回路
信号送信回路

高効率ランプ 無電極プラズマ

工場・倉庫・街頭などに用いられる無電極ランプ。
従来の水銀灯ランプよりも省エネで地球環境にやさしく、長く、明るく経済的にご使用できます。
LEDよりも寿命が長く、LEDのようなギラギラ感がありません。
やさしい光で空間を演出できます。

GOOD DESIGN AWARD 2014

ジアフリー

必要なのは、食塩水と電気だけ。
次亜塩素酸水溶液の超微粒子を生成し、除菌・消臭を行います。

介護施設・ホテル・旅館・病院・クリニック・動物病院・ペットショップ・仮設施設など幅広い分野にお導入実績有り

99.9% 除去
100,000
10,000
1,000
100
10
1
0
時間
30分後
30分

■ 環境経営方針

環境経営方針

〈基 本 理 念〉

株式会社 ユースは、

「提案と邁進」

提案力を高めて、快環創造へ邁進する。

をスローガンに各事業を通じて、地球と地域環境の保全に貢献し、効率的な活動の展開と環境の継続的改善を目指します。

〈行 動 指 針〉

基本理念の実現に向け、環境保全に配慮して行動することを経営の重要課題の一つとしてとらえ、次の行動指針を定めます。

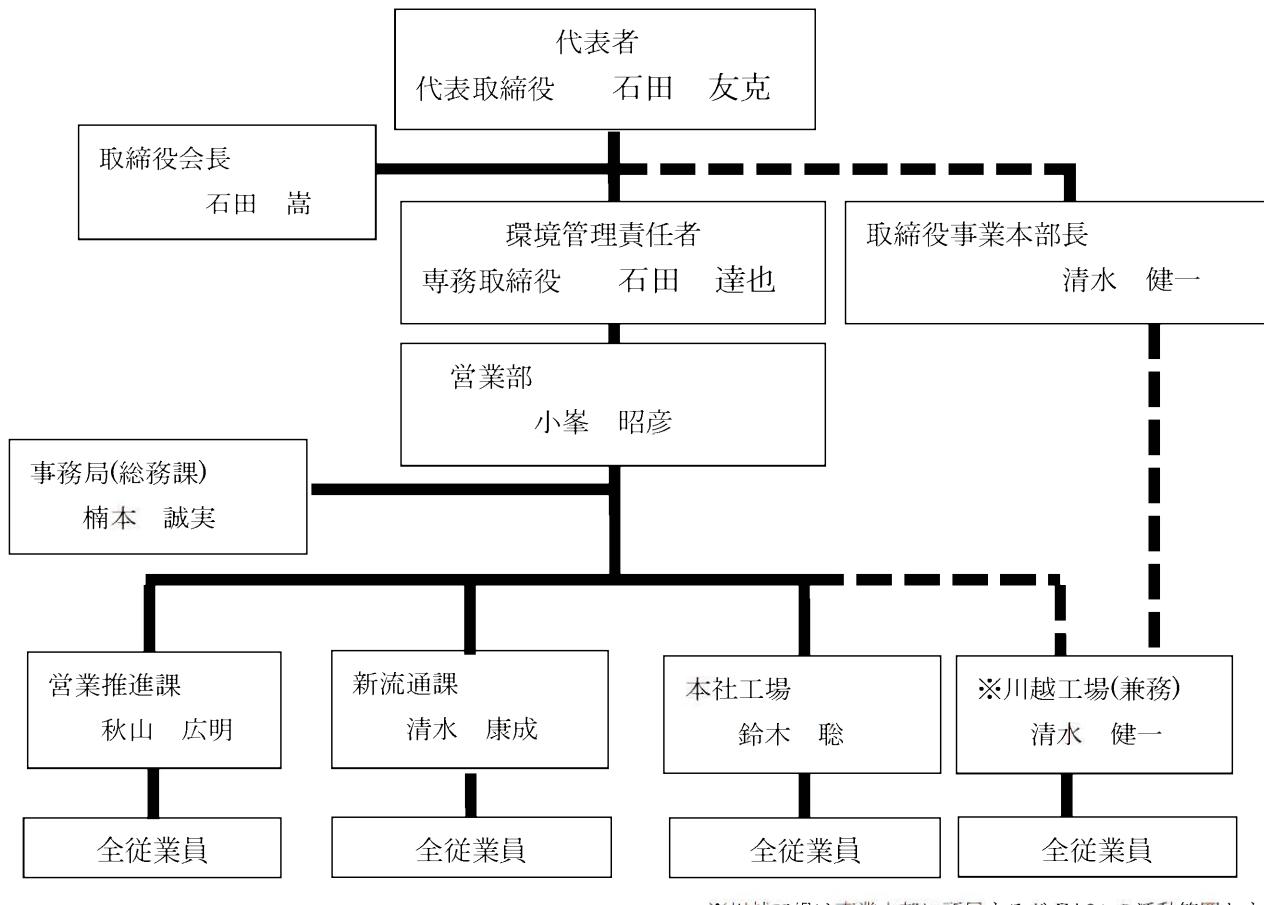
1. 環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にとどめるため、次の取組を行います。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 水使用量の削減
 - ③ 廃棄物の分別・リサイクルと排出量の削減
 - ④ 事務用品等のグリーン購入促進
2. O A・環境フェア一及び環境配慮型機器のセミナーを定期的に開催し、啓蒙及び快適な職場環境を創造・提案する事に寄与する。
3. エコアクション21の取組により、環境の継続的な改善を図ります。
4. 環境法規制等を遵守します。
5. 地域社会における環境保全活動に参画し、社会貢献活動を推進します。
6. 従業員に環境経営方針を周知徹底します。
7. 環境活動レポートを公表します。

2016年9月1日

株式会社 ユース 代表取締役 **石田 友克**

2016年9月 基本理念改定

■ 組織図



部門	責任及び権限
代表者 (代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> ○環境経営方針の制定 ○環境管理責任者を任命 ○環境経営資源の確保 ○取組状況の評価と見直し並びに指示
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○代表者に代わって EA 2 1 の構築運用を図る ○環境目標、環境活動計画の策定を行う ○EA 2 1 の実施状況を代表者に報告する ○関連法規の調査と順法性のチェックを行う ○環境活動レポートを作成する
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○管理責任者の事務的業務を担当する ○環境コミュニケーションの受付を行う ○活動全般の補佐
部門管理者	<ul style="list-style-type: none"> ○部門の環境目標・活動計画の実施、活動状況の確認 ○関連する手順書の作成と運用 ○部門に関する問題点の洗い出し、是正・予防処置 ○教育訓練の指導 ○運用管理に関する部下の指導 ○実施状況の記録
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ○部門環境目標・活動計画の実行 ○地域社会貢献活動への参加

■ 年度別環境目標計画の推移

2012年度から川越工場を追加

事業に連動 毎9月～毎8月

環境経営 方針	基準年度 (2006)	単位	環境目標計画(2015年以降は推定)							
			2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	
二酸化炭素排出量の削減	削減率	—	前年実績値の ※ -1%減	前年実績値の -1%減	前年実績値の -1%減	前年実績の 対売上比の -1%減	前年実績の 対売上比の -1%減	前年実績の 対売上比の -1%減	前年実績の 対売上比の -1%減	
	82,737	kg-co ₂	82,781	84,168	81,365	4,624	4,954	4,679		
電力削減	削減率	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
	45,228	kwh	99,427	95,988	87,253	4,340	4,427	4,637		
燃料使用量	削減率	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
	24,000	L	16,800	17,997	18,300	1,150	1,155	1,025		
廃棄物削減(一般)	削減率	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
	6,315	kg	24,077	1,971	1,102	4,510	4,652	4,424		
廃棄物削減(産廃)	削減率	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
	8,532	kg	11,995	0 ※1	0 ※1	0 ※1	0 ※1	0 ※1		
水使用量削減	維持	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
	274	m ³	184	187	203	1,220	1,305	1,079		
コピ一用紙使用量	維持	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
	150,000	枚	169,651	149,966	154,749	9,040	9,031	8,277		

注記：購入電力の排出係数は、2014年度の東京電力二酸化炭素排出係数 0.496 kg-co₂/kwh (現在の中期3年は2017年までとする)

※2011年より当該年度実績値の-1%を、次年度の目標値としていたが、2015年より前年実績の対売上比-1%を目標値とし運用する。

※1 2012年度よりリサイクルに関する社内ルールを変更しました。

※2 次年度の中期3年計画立案時に排出係数の見直しをはかる

■ 年度別環境実績の推移

環境経営 方針	基準年度 (2006)	単位	環境実績					2017年	2018年
			2014年	2015年	2016年	2017年	2018年		
二酸化炭素排出量の削減	82,737	kg-co ₂	83,935	91,727	本社 61,847	川越 35,068	96,915		
電力削減	45,224	kwh	78,875	81,771	本社 36,611	川越 58,669	95,280		
燃料使用量	25,843	L	20,951	21,332	本社 18,525	川越 2,534	21,059		
廃棄物削減(一般)	6,103	kg	1,178	1,197	本社 1,030	川越 28	1,058		
廃棄物削減(産廃)	8,532	kg	0 ※1	0 ※1	本社 0	川越 0	0 ※1		
水使用量削減	252	m ³	223	241	本社 251	川越 0	251		
コピー用紙使用量	149,090	枚	164,259	166,786	本社 145,000	川越 25,049	170,049		

事務用品のグリーン購入の推進 …確定した10商品を100%購入

注記：購入電力の排出係数は、2014年度の東京電力二酸化炭素排出係数 0.496 kg-co₂/kwh (現在の中期3年は2017年までとする)

※1 2012年度よりリサイクルに関する社内ルールを変更しました。

※2 次年度の中期3年計画立案時に排出係数の見直しをはかる

■ 今年度の環境目標及び環境活動計画

活動項目	取組内容
本社・本社工場・川越工場	購入電力の削減 <ul style="list-style-type: none"> ① エアコン：専用温度計による管理を設置。 (夏：28 冬：22) ② 照明：間引き、休憩時間、部分照明等消灯基準・運営 ③ OA機器：省エネ設定、電源断の基準設定 ④ 工場設備：適切なメンテナンスと無用運転のストップ ⑤ 「電力使用量削減計画」の実施
	ガソリン・軽油節約 <ul style="list-style-type: none"> ① エコドライブの推進 ② アイドリングストップ励行、適積載の維持 ③ 顧客回りの効率化と燃料の節約 ④ 1ℓ当たりの走行距離を算出
	廃棄物削減施策（一般） <ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物分別を強化（コピー用紙の裏面使用等） ② 不要な資料の持込みを防止 ③ リサイクルの推進
	廃棄物削減施策（産廃） <ul style="list-style-type: none"> ① 材料（木材・ベニヤ）取り方法の工夫 ② 産廃物持込みは、厳禁 ③ 正確を期すための計算システムによる算出
	排水量の節約 <ul style="list-style-type: none"> ① 定期的に、水漏れ防止箇所を点検。 ② 節水に関する従業員の意識の浸透
	コピー用紙・パルプ使用の抑制 <ul style="list-style-type: none"> ① 裏面未使用コピー紙の回収と使用 ② コピー機の両面印刷の励行 ③ 2枚以上のコピーは、両面コピーする
	事務用品等のグリーン購入の推進 <ul style="list-style-type: none"> ① 購入対象製品を確定 ② 確定した商品を年間10件、100%購入する
	環境配慮型機器の啓蒙及び販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ① エコシルフィ提案と販売 年間販売高設定 ② 次世代照明の提案と販売 年間販売高設定

■ 4 6 期 取組結果の評価と改善施策及びコメント

活動期間の環境活動評価

項目		36期 (06年度) 基準値	目標	実績	本社 46期 実績値	川越 46期 実績値	評価	売上指標(太字)に対する 実績値について
			46期全社 (16年度) 対売上目標値 前年実績値	46期全社 (16年度) 対売上比 実績値				
CO2 排出量	売上指數 kg - CO2	— 82,737 6,895/月	4,954 91,727	4,764 96,915	61,847	35,068	達成	社員人數增加でOA機器の稼動が増え、設備稼働時間も増えた為、購入電氣增加
購入電力	売上指數 kwh	— 45,228 3,769/月	4,427 81,771	4,722 95,280	36,611	58,669	未達	売上増と人員増による購入電力が目標をオーバー。
ガソリン・ 軽油投入量	売上指數 L	— 24,000 2,000/月	1,155 21,332	1,039 21,059	18,525	2,534	達成	営業のルート整理、同行営業の推進、積載荷物減の推進リース車両を新規に入替え
廃棄物 (一般)	売上指數 kg	— 6,315 526/月	4,652 1,197	4,553 1,058	1,030	28	達成	一般廃棄物とリサイクルの分別を前年より強く推進、指導した為
廃棄物 (産廃)	売上指數 kg	— 8,532 711/月	0 0/月(※1)	0 0/月(※1)	0	0	(継続)	木くず、おが屑、ペニヤ屑全量リサイクル
総排水量	売上指數 m³	— 274 22.8/月	1,305 241	1,240 251	251	※③ (40) 本社と同等 の管理レベル	達成	※社員の増員はあったが売上も増えている為、実績としては変わらず
コピー用紙 使用量	売上指數 枚	— 150,000	9,031 166,786	8,387 170,049	145,000	25,049	達成	裏紙の使用ルールを改定し、裏紙の使用を徹底印刷からデータでの管理に一部変更した為
事務用品のグ リーン購入 (10品目)	実施率	100%	100%	100%	100%	100%	達成	確定した10商品を年度ごとに100%購入
環境配慮型機器の啓蒙及び販売促進			①エコソルフィ提案と販売の実績は、設定に対して未達。(来期も継続してチャレンジ) ②次世代照明の提案と販売の実績は、設定に対して未達。(来期も継続してチャレンジ)					

注記①：購入電力の排出係数は、2014年度の東京電力二酸化炭素排出係数 0.496 kg-CO2/kwh

注記②：2015年より実績の対売上比を“売上指數”とし、目標及び実績の比較数値とし運用する。

注記③：川越工場の総排水料は賃貸先で支払う契約であり、総排水量算出にあたっては賃貸先と川越工場の人員比によって推定した。

※1 2012年度よりリサイクルに関する社内ルールを変更した

● 4 6 期 (2016年度) の実績値に対するコメント、

46期の具体的な取組状況の詳細は、「環境目標・環境活動計画書・進捗状況報告書」による。

前期より実績数値に対して算出していた目標から、実績と売上の比率からなる指標を目標設定として定め、初めての前期との比較が出来る期となった。両面での分析が出来る様になり、コピー用紙の使用量について裏紙使用ルールの改善により削減策を取り組んだ結果、売上増により実績数値は増えているものの、指標については目標を達成しており、取り組みの効果が見える形になった。

ただし、CO2削減、購入電力については売上増加に対し指標が範囲内で収まらず増加という結果となつた。

従業員増えた事による設備稼働量や時間が増加したという理由はあるが、来期以降は設備稼働時間の削減、業務効率の向上を各責任者と共に改善していきたい。

■環境コミュニケーション

- ・エコアクション21活動に関する利害関係者からの苦情、意見、問合わせ等はありません。
- ・エコアクション21活動をバックボーンとした商品（環境機器）の販売促進を強化し顧客とのコミュニケーションに重点を図っている。

■環境関連法規制への違反、訴訟等の有無

1、適用になる主な環境関連法規

環境関連法規	法令の概要	該当する活動
廃棄物の処理及び清掃に関する法律、資源有効利用促進法	廃棄物の処理及び清掃に関する「法律」… 3条・12条の3、12条3項、12条4項、令第6条の2 「規則」…第8、8条の4、8条の27、3R	廃棄物の排出の際の適正処理 適正な業者選択 マニフェスト伝票の確認 リデュース、リユース、リサイクル
騒音規制法	騒音規制法。令1条別表第1	小型マルノコの使用
自動車関連	自動車NOx・PM法12条 自動車リサイクル法	車検証の確認、廃車の場合
フロン排出抑制法	フロンの漏えい点検が義務化された（簡易点検と定期点検）	業務用冷凍空調機器（7.5kW）簡易点検は3か月に1回、定期点検は、3年に一回以上
埼玉県生活環境条例	・生活環境保全条例。第31・40条 ・生活環境保全条例施行規則。第17条、別表第1及び第20条	アド・リング・ストップの指定駐車場への看板設置 駐車場におけるアド・リング・ストップの確認

2、違反、訴訟

環境法規制違反はありません。また、訴訟等も同様に1件も無く、利害関係者よりの違反の指摘はありません。

●社員への環境保全に関する情報及び啓蒙

- 顧客の職場環境改善へより良い提案が出来る様、従業員の知識を向上する為に、環境商品に対しての教育活動を定期的に会議等の時間を使い実施しています。
 - ・主に教育している環境商品
 - 【エコシルフィ】**
天井ファンが創る強制対流により建屋内の上下・水平の温度のムラを解消して快適空間と空調費の節減に貢献します。
 - 【高効率ランプ無電極プラズマ】**
工場・倉庫・街頭などに用いられ、従来の水銀灯ランプよりも省エネで地球環境にやさしく、LEDよりも寿命が長く、やさしい光で空間を演出でき経済的にご使用できます。
- 社員が目にしやすい場所に設置した社内環境掲示版を活用し、活動結果を毎月掲示する事により見える化を図り、その他環境に関する情報も掲示し環境への意識向上を推進しました。
- 環境省によるチャレンジ25宣言への参加をし、「ウォームビズ」や「クールビズ」の推進を実施。又、ポスター等を掲示して1年を通じ環境へ配慮の徹底をしています。
- 本社事務所内にゴミの分別の表記、各種紙類の分別表記、室内温度を確認する為の温度計を設置し、社員の意識向上となる環境としています。
- 狭山市より『環境にやさしい事業所認定証』を取得(2008年4月)しています。
- 環境省による「低炭素社会の実現」を目指し、企業や団体、地域、個人が知識や知恵を共有するキャンペーン「Fun to Share」への賛同、登録をし、名札等にロゴを使用しています。
- 過去の取り組みが分かる「節電の取組」を事務所内に掲示し、取組み意識への推進を行っています。

■ 環境事業の推進

1、OA・環境フェア 開催

毎年2月に開催しています「ユースOA&環境フェア」、を2017年2月16日、17日の2日間、狭山市市民会館で開催致しました。

前年同様に会場内は多くの環境関連の商品を展示。その他にもOA・防災・介護・文具等のブースを設け、2日間で来場者数は前年よりも多く約530名となり大盛況となりました。



2、環境商材の展開

ホームページをリニューアルし、弊社の取り扱い商品や業務内容、サービス内容も分かりやすく紹介。

その中で「環境商品」と題し、エコシリフィや高効率ランプ無電極プラズマの紹介や、季節に応じた環境商材の紹介をさせて頂いております。

又、地域貢献活動等もホームページ内にあるトピックスとFacebookで随時更新しております。

■その他

3、緑化整備、美化活動の推進及び地域貢献

①地域社会美化の環境活動の参加

地域社会美化活動として年に5回ほど行われる、川越狭山工業会様主催のパンジーの花植えや、雑草の除草作業に今年も参加いたしました。近隣の会社様や自治会の方々とのコミュニケーションとしても大事な時間として今後も参加していきます。



②「ふれあいまつり」の参加

2016年10月1日、日本標準様(埼玉県日高市)主催の『ふれあいまつり2016』に今年も参加させて頂きました。恒例となりました“端材で作る簡単木工工作”と題した木工教室と“わたあめ”を今年も出店し大盛況でした。



③工業団地内の美化活動

- ・本社、本社工場（川越狭山工業会主催）
周辺道路の除草・空缶拾い等環境美化・清掃活動
(毎月第2水曜日に近隣の清掃を実施)
- ・川越工場（東部工業会主催）
芳野台工業団地内、周辺道路の除草・清掃活動
(毎月15日の清掃デーに参加)



④献血の協力

本社にて日本赤十字社埼玉県赤十字献血センター様の移動献血バスに来て頂き、年2回献血をしております。今年も多くの従業員の協力を頂きました。



⑤防災非難訓練の実施

毎年本社にて「防災避難訓練」を実施しております。避難経路の確認、消火器の位置確認、蓄電池や発電機の位置確認等々を実施致します。又、弊社は拠点毎にAEDを設置しており、建屋外にその掲示を出しています。近隣での“もしも”にも地域貢献の1つとして協力して行きます。



■ 代表者による全体の取組状況の評価と指示

代表者による評価と見直し結果

承認 石田（友） 2017.11.8	作成 楠本 2017.11.8
--------------------------	-----------------------

(1)全体の確認・評価

事項	報告内容(要旨)	代表者の評価
(1)行動指針活動状況 ①購入電力の削減 ②ガソリン・軽油節約 ③廃棄物の分別・リサイクルと排出量の削減 ④総排水量 ⑤グリーン購入 ⑥コピー用紙使用の削減	①売上増と人員増による購入電力が目標をオーバー。 ②営業のエリアとルートの整理、営業車の使用用途を明確にする。古いリース車両を新規に入れ替える。 ③一般廃棄物は少なく、サクレは多く。 ④経年変化無し ⑤指定した10品目は100%購入 ⑥削減策としてPCデータ保管とし、メールで配布	EA21事務局はEA21の普及と目標達成に向け、出来ることは高いレベルで行っている。目標の達成には、営業推進課との連携が必要で、今期は営業推進課の役割を明確にすべきと考える。47期は目標を達成したい。
(2)近隣住民等からの苦情・要望の受付及び処置状況	・環境コミュニケーション記録 2016.9～2017.8の間、苦情・クレームはなかった。	引き続き地域活動へ参加。
(3)環境法規制等に対する遵守状況	・環境法規制等要求事項チェック表 2017.2と2017.8にチェックし、遵守を確認。	維持管理のこと。
(4)是正処置及び予防処置の実施状況	・「改善提案」にて実施報告。 ※内容及び対策：コピー用紙の裏紙利用について他	EA21に囚われず、より多くの改善の種を見出し、組織の更なる進化を目指す。
(5)前回の指示事項の取組結果	営業ツールとしての「環境活動レポート」を目指し、改善を進める。 ⇒特に大きな改善無し	意思を入れ、環境活動レポートを進化させたい。
(6)その他		認定番号全国26番の事務所としてより積極的にEA21を活用したい。

(2)代表者による環境方針等の指示事項

項目	指示事項等
1. 環境方針	【提案と挑戦】質の高い提案を実践し、失敗を恐れず高い目標に挑戦しよう。
2. 環境目標	・各取組項目に対し、挽回策をあらかじめ立案しておく。 ・定期的な進捗確認を実施し、進度に問題がある場合は挽回策を速やかに実施し、各項目の目標を達成する事。
3. 環境活動計画	特に購入電力の削減については、ゼロベースで取り組みそのものを見直し、目標を達成に挑戦の事。
4. EA21システム全般	社内でのEA21の浸透と対外への発信を意識した環境配慮型の経営を実践する。 認定番号全国26番目の事業所として、EA21の普及にも尽力したいため、展示会にはEA21ブースの出展を検討する。

■ 47期(2017年度)の具体的な取組み計画 (本社・川越工場)

活動項目	取組内容
本社 ・本社工場 ・川越工場	<p>購入電力の削減</p> <p>①エアコン：夏（冷房）28度、冬（暖房）22度 但し、前後1度の許容範囲を設ける</p> <p>②照明：a) 事務所・工場：休憩時間に決められた箇所を消灯する。 b) 会議室・食堂・トイレ・更衣室：使用時に点灯、使用後は消灯する。 c) 事務所・食堂の蛍光灯：個々の紐にて、必要な箇所のみ点灯する。</p> <p>③OA機器：省エネ設定</p> <p>④ノートPC：主電源とディスプレイのON/OFFの徹底</p> <p>⑤工場設備：給油等の保守点検を行い、使用時のみ稼働する。</p>
コピー用紙使用量の削減	<p>①裏紙回収・裏紙使用の実施： 各人は不要な面に×印をつけ回収箱に入れ、可能な限り裏紙を使用する。</p> <p>②両面コピー/両面印刷を行う</p> <p>③電子メールを活用し、ペーパーレス化を図る。</p>
廃棄物排出量の削減	<p>廃棄物分別の徹底。廃棄物量の削減 不要な廃棄物は持込まない。 木材・ベニヤの材料取りを工夫し、有効率を高める。</p>
ガソリン・軽油の使用量の維持	<p>過積載の禁止。車両点検の実施。営業ルートの確定 ・アイドリングストップの励行。 ・エコドライブの徹底。 ・営業社用車のガソリン使用量を調査 ・データに基づいた全車両等の妥当性の確認。</p>
総排水量の抑制	①上水道の節水と排水量の抑制。
環境配慮型機器の啓蒙及び販売促進	<p>①エコシルフィの提案と販売(来期目標に反映) ②次世代照明の提案と販売(来期目標に反映)</p>
事務用品等のグリーン購入促進	①確定した商品の購入を年間10件100%実行
その他の指示事項	

◎ 環境目標の担当部署及び責任者

目標項目	担当部署	責任者
1、購入電力の削減	総務課	楠本
2、コピー用紙、紙製品のリサイクル及びパルプ使用量削減	総務課	楠本
3、廃棄物排出量の削減	本社工場	鈴木
4、ガソリン・軽油、二酸化炭素排出量の削減	営業推進課	秋山
5、総排水量の維持	総務課	楠本
6、川越工場(1 ~ 5)	工場長	清水